

令和3年度 事業報告

1. 奨学事業

(1) 令和3年度 奨学生人数及び支給額

	当期実績		前期実績		当期計画	
	人数(内、新規)	支給額	人数	支給額※	人数	支給額
高校奨学生	105人(41人)	25,200千円	93人	25,140千円	104人	24,960千円
大学奨学生	18人(5人)	10,800千円	16人	9,600千円	18人	10,800千円
計	123人(46人)	36,000千円	109人	34,740千円	122人	35,760千円

※前期はコロナによる家計急変を配慮し、前年度からの継続高校奨学生49人に年額60千円/人を追加支給。

(2) 奨学生募集及び選考状況

	募集対象	募集先	募集時期	募集人数	応募者人数	選考委員会開催日	選考人数
令和3年度 高校奨学生	高校 2,3年生	県内高校 138校	R3.4.1~ R3.4.30	11人	28人	R3.5.20	13人※
令和4年度 高校奨学生	中学 3年生	県内中学 290校	R3.9.3~ R3.10.31	30人	48人	R3.11.15	29人※
令和4年度 大学奨学生	高校3年生 高専5年生	県内高校及び 高等専門学校	R3.12.3~ R4.1.31	5人	22人	R4.2.15	5人

※選外となった高校2,3年生15名並びに中学3年生19名には図書カードを支給。

(3) 授与式・懇親会について

奨学生認定証授与式並びに懇親会は、毎年、全奨学生や新規高校奨学生の引率教員に参加いただき開催しています。当期は感染状況を勘案し、7月18日にグランドホテル浜松にて、参加者を静岡県内在住の奨学生並びに引率教員に限定し開催しました。なお、県外在住の大学奨学生や会場での参加が困難な高校奨学生はオンライン形式での参加、欠席者には録画した当日の様相を後日公開しました。

《参加者》 高校奨学生 65名(内、オンライン参加者20名)
 大学奨学生 14名(〃9名)
 卒業生 4名(〃2名)
 引率教諭 11名
 来賓・財団関係者 13名

計 107名(内、オンライン参加31名)

(4) 令和3年度卒業生

卒業生の人数と進路

	大学 進学	専門学校 進学	就 職	大学院 進学	進 級	不明	計
高校卒業生	32 人	2 人	3 人	—	—	1 人	38 人
大学卒業生	—	0 人	0 人	3 人	2 人	—	5 人

なお、高校奨学生には、当財団から理事長名の「祝詞（しゅくし）」と図書カード(5千円/人)を贈りました。

(5) 静岡文化芸術大学奨学金

静岡文化芸術大学の学生に対し、一層の向学心向上を奨励し、成績優秀な学生の修学環境を整備することを目的として奨学金給付をしています。

令和3年度は、同大学の学部3年生7人に、返済不要の奨学金1人30万円を支給しました。

奨学生は、学部1,2年時に優秀な成績を修めた者を、各学科（国際文化学科2名、デザイン学科3名、文化政策学科及び芸術文化学科各1名）より推薦いただき、理事会承認を経て決定しました。

2. 外国人学校支援事業

外国人就労者の子どもたちの学習環境を整えるため、浜松市西区雄踏町にある外国人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」の支援をしています。

令和3年度は、同校の運営状況を勘案し1,000万円の資金援助を行いました。なお、平成18年より引き受けている1億円（利率0.1%、期間3年）の学校債は、令和3年4月5日の満期をもって償還されました。

3. 特別支援学校支援事業

障害のある子どもたちが、スポーツや学習活動を通じてあらゆる可能性を見いだせるよう、静岡県内の特別支援学校PTAに対し、児童・生徒が使用する物品40品（総額3,066万円、工事費等含む）を寄贈しました。

募集時期：令和3年7月1日から令和3年9月30日

選考委員会：令和3年10月14日

(1) 令和3年度 寄贈結果

地区(学校数)	当期実績		前期実績	
	寄贈校数	寄贈額	寄贈校数	寄贈額
東部地区(14校)	11校	9,425千円	8校	3,240千円
中部地区(11校)	7校	10,876千円	4校	7,612千円
西部地区(14校)	12校	10,357千円	9校	6,624千円
計(39校)	30校	30,658千円	21校	17,476千円

(2) 寄贈式並びに寄贈物品活用状況

寄贈式は、1月26日にグランドホテル浜松にて、寄贈先の校長並びにPTA会長にご参加いただき開催することを予定していましたが、感染症の再拡大によりオンラインでの開催としました。

《参加者》 学校関係 47名
来賓、財団関係者 19名
計66名 (接続アカウント数)

また、各学校に寄贈物品の活用状況を共有していただけるよう、「寄贈式」の中で代表校に物品の活用状況を報告いただいた他、寄贈した学校の一年間の使用状況を「寄贈物品使用状況報告書」として冊子にまとめ、県内すべての特別支援学校に配布しました。

4. 財団広報活動

奨学生の募集を学生本人のみならず保護者にも周知できるよう、奨学生募集ポスターを作成し、県内の中学校並びに高等学校に配布しました。

また、広く財団の活動を紹介できるよう、リーフレットを作成しました。リーフレットは、県内の教育機関、社会福祉協議会等に配布する予定です。

以上

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しません。